

# 環境モデル都市とやま —コンパクトシティ戦略による低炭素社会の実現—



富山市

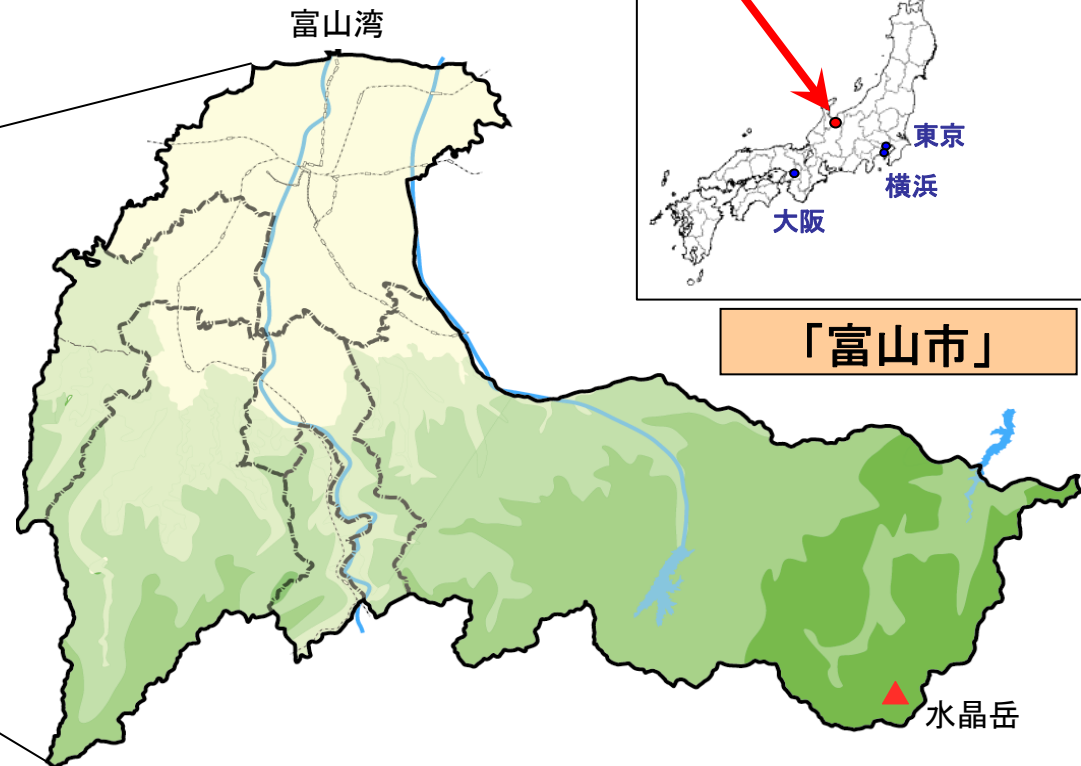


1

環境モデル都市富山  
ECO-MODEL CITY TOYAMA

# 1 富山市の概況

■ 富山県全図



- 概要：人口約42万人、総面積1,242km<sup>2</sup>
- 日本列島の中央に位置し、標高0mの海岸から3,000m級の立山連峰までの、多様な地勢を有する水と緑に恵まれた都市

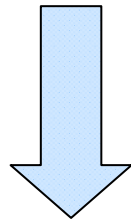


## 2 低炭素化への取り組みの考え方

公共交通の活性化によるコンパクトなまちづくりにより、低炭素社会を実現する。

### 富山市が目指すお団子と串の都市構造

過度に車に依存する都市構造

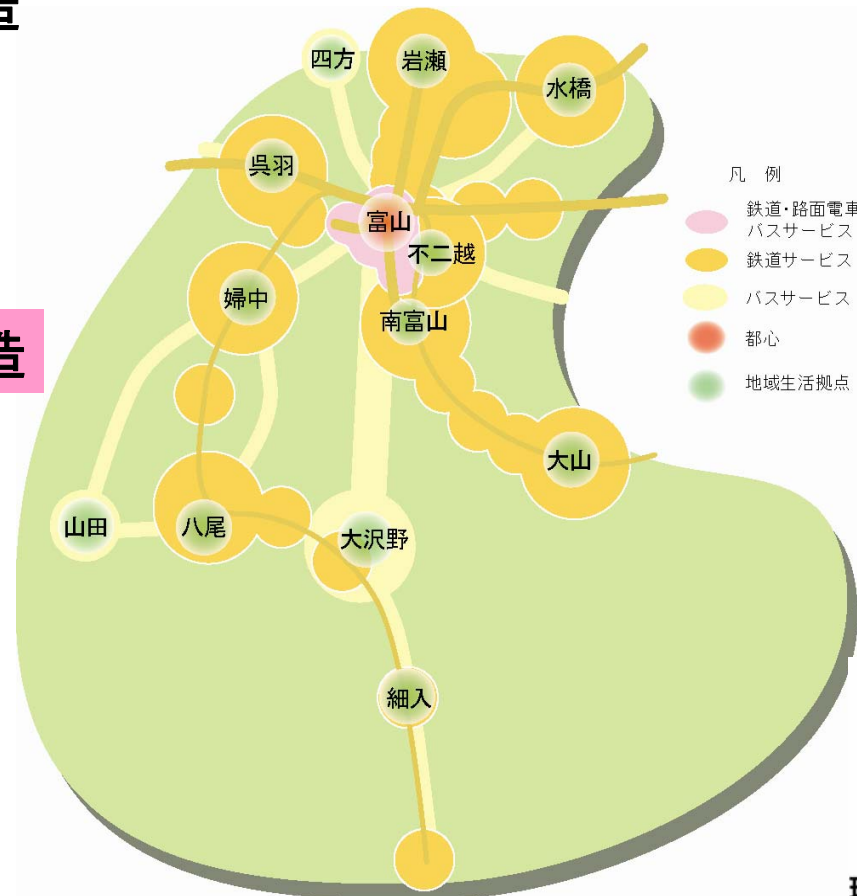


車も公共交通も使える都市構造

「串とお団子」モデル

串 : 一定水準以上のサービス  
レベルの公共交通

お団子 : 串で結ばれた徒歩圏



3

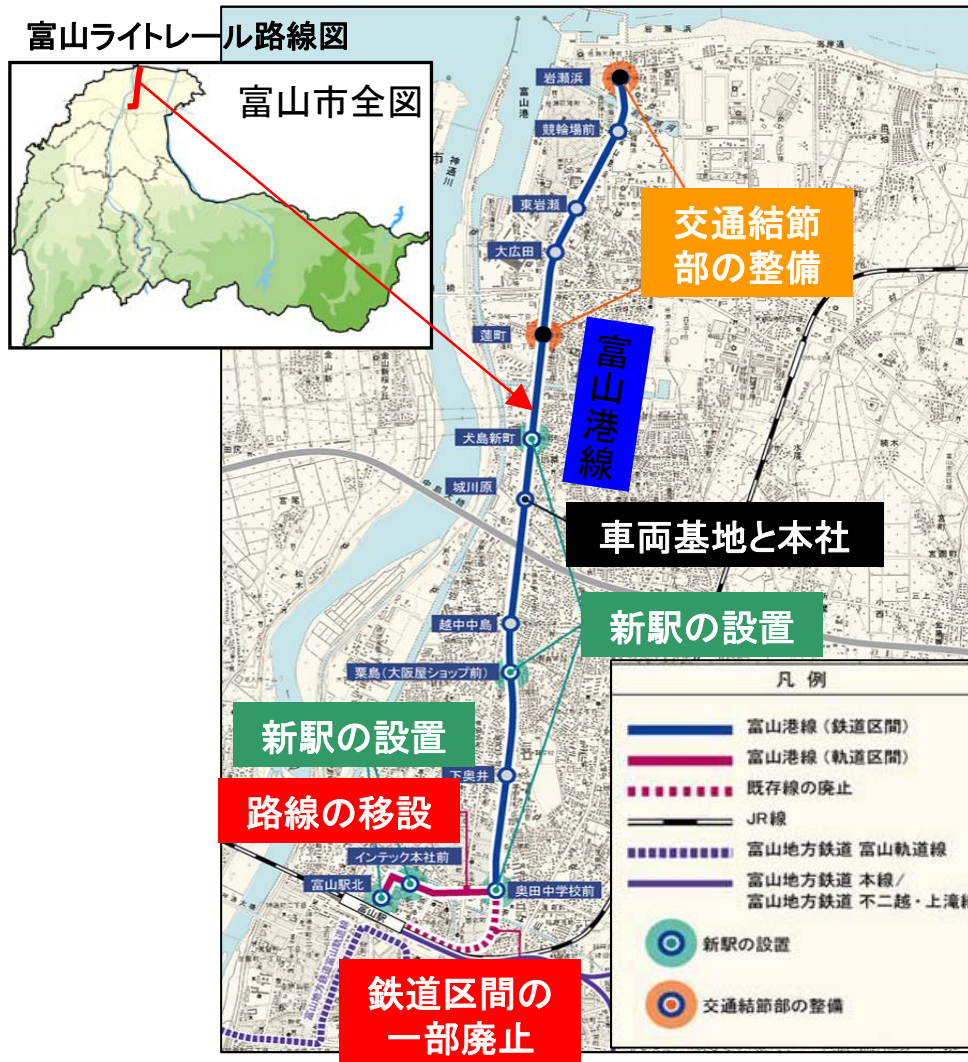
環境モデル都市富山  
ECO-MODEL CITY TOYAMA



# 3 公共交通の活性化

## 富山ライトレールの整備

- ・まちづくりの観点から必要なものについては行政がコストを負担し、公共交通を活性化させる
- ・公共交通の活性化と沿線のまちづくりを一体的に行う



軌道区間の様子

区間	富山駅北～岩瀬浜
延長	7.6km (鉄道区間 6.5km、軌道区間 1.1km)
電停数	13
車両数	7編成(2両1編成)
所要時間	約25分
運行間隔	10～15分
料金	200円 (65歳以上100円)

環境モデル都市富山  
ECO-MODEL CITY TOYAMA

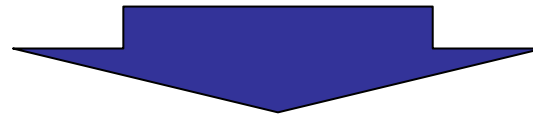


# 4 富山型低炭素社会実現への課題

## 課題

### 生活の質と低炭素化とのバランス

○過度な車への依存・大量消費・廃棄は改めなければならないが、「我慢」だけでは限界



## 今後の展開

### 満足度の高い暮らしが低炭素社会につながるアプローチ

○歩いて暮らせる、安全・安心、快適性の確保との連携など

